



バイオテクノロジーの第二の産業化の離陸に対応して、
バイオ投資の目利きをケース・スタディに基づいて行う
人材開発プログラム。

慶應大学先端生命科学研究soでの実習を始め、
斯界のキーパーソンと膝を突き合わせて議論する
充実のカリキュラムをご用意。

先端研究者や有望ベンチャー、投資家、
政府関係者との強固なネットワークも築けます。

新型コロナ流行時は
Webexでウェブセミナーを
行います

第2期

バイオインベストメントギルド (BIG)

主催：(株) 宮田総研 共催 (株) ヘルスケアイノベーション

20年度中に、我が国でもDTx (デジタルセラピューティクス)が治療用医療機器ソフトウェアとして認可され、来年度保険償還の対象となる見込みです。時代は大きく変化しています。急進するバイオテクノロジーは、ICT/AI技術と融合し、生命関連ビッグデータに基づく革新的なサイエンスへと変貌しつつあります。情報、中でも生命に関する情報が利益を生む時代となったのです。こうした新しい変化に我が国の製薬企業、ベンチャー企業、生命保険会社や損害保険会社、さらにはマイクロソフト、グーグルなど異業種企業も雪崩を打って参入しています。

一方、ビッグデータがバイオテクノロジーの研究自体を加速した結果、次々と新しいモダリティの新薬が上市されています。プラスミドDNAの遺伝子治療が19年認可されたのに続き、20年にはAAVベクターの本格的遺伝子治療も我が国で販売承認される見込みです。国産の核酸医薬の実用化も肉薄しています。再生医療では19年に自家間葉系幹細胞「ステミラック」が発売され、間葉系幹細胞を中心として実用化が始まりました。また、臨床研究(一部企業治験)ですが、他家iPS細胞由来の再生医療の開発も、加齢性黄斑変性、心筋シート、脊椎損傷、パーキンソン病、角膜病変など、続々と始まった。世界に目を転じれば、ゲノム編集で改良されたTCR細胞やCAR-T細胞などの臨床研究も始まり、地中海貧血をゲノム編集治療(一種の遺伝子治療)で治すことを目的とした治験も19年にドイツで始まった。一方、バイオ医薬の大河である抗体医薬の市場は順調に拡大、既に100種以上の抗体医薬が世界市場で販売されています。抗体誘導体や低分子化抗体の実用化も始まりました。バイオ医薬の売り上げは、世界の新薬市場の5割に迫るまで成長しました。

今やバイオテクノロジーなどの技術革新を無視することは、どんな企業でも不可能になっています。自社研究偏重からオープンイノベーションに大きく舵を切った製薬企業やバイオ参入を目論む異業種企業にとって、今までの研究開発の延長線上にない技術突破をいち早く把握し、積極的に自社のパイプラインや技術基盤に導入することは、生死を決める重大事です。しかも、イノベーションは小さなベンチャー企業や大学の研究室からダイレクトに生まれるようになりました。自らの研究力を高めるだけでは不十分です。以下に、早く技術や製品を評価して、最適のタイミングで投資を行うかが、皆さんの企業の成長の鍵を握っています。イノベーションの嵐に立ち向かう逞しい目利きの養成が不可欠です。

バイオインベストメントギルドは、産学官より最高最善の人材を集結して、バイオに対して的確な投資判断と技術導入の判断を行う人材育成プログラムです。同時に、バイオの投資や技術開発のエンジンとなる人材ネットワークへの扉を開くものであります。このプログラムの前身である17年間継続したバイオフィナンスギルドでは、実習からメタバロームのベンチャー企業設立が誘導され、ベンチャーと参加企業の技術提携が実現し、更には政府の研究プログラムや規制改革にも影響を与えてきました。

今回は製薬企業やベンチャー企業だけでなく、ベンチャーキャピタルや投資家にも門戸を広げ、技術の潮流の把握や技術評価に加えて、有望ベンチャー企業との出会いの機会も提供し、わが国のバイオベンチャーの成長を加速する人材の育成も行います。

ぜひともこの絶好の機会に、バイオインベストメントギルドに人材を送り込み、貴社のバイオ投資や技術導入を成功に導く人材の育成を行っていただくようお願いします。



株式会社 宮田総研 代表取締役社長兼

株式会社 ヘルスケアイノベーション代表取締役社長

株式会社 ヘルスケアイノベーション代表取締役会長

宮田 満

大滝 義博



第2期 バイオインベストメントギルド(BIG)

目的

バイオベンチャーに投資を行い、バイオ産業を成長させる投資人材を育成する。国内外のBest&Brightestの才能との連携を提供し、技術突破を実現する。

カリキュラム

1 セミナー(年間10回)

原則第2金曜日 18時から20時半+講師を囲んだ懇親会
単なる座学ではなく、討議を中心に展開
毎回、市場や技術に関する俯瞰的レビューと投資のリスクを解説
最先端の研究者と有望ベンチャーのキーマンを講師として招聘
ヘルスケアイノベーションの全面協力
講義のハンドアウトを印刷とCD-ROMで可能な限り提供します

2 実習(鶴岡までの往復交通費は別途負担願います)

2020年8月末、もしくは9月初めの金曜日と土曜日に山形県鶴岡市の慶應義塾先端生命科学研究所で、遺伝子操作から最先端のメタボローム解析までを体験します。初歩の初歩から説明いたしますので、まったく未経験の方でも参加できます。実際に実験して、バイオを体感することが重要です。これによって実際の技術の落とし穴を見抜く力を養います。また、最先端のバイオの講義に加えて、同研究所からスピンアウトした9社のバイオ・AIベンチャーとの交流も行います。実習を鶴岡市が全面的に支援していただいています。

3 参加会員専用メーリングリスト

講義の案内や実習のオリエンテーションなどをお知らせいたします。

日程・会場

日程：

2020年7月10日(金)より開催予定

原則第二金曜日(8月、12月は休講)18時より20時半

その後、講師を囲んだ懇親会あり

費用

1名 150万円(税別)

本プログラムの参加は企業単位で承ります。参加費用は受講生1名当たり150万円。2名参加希望の場合は300万円です。3名以上の参加は原則としてお受けできません。1名の受講生が全コースを履修することが望ましいですが、代理出席も認めております。講義代、実習費用、資料代も含んでおります。

支払い方法：4ページ目の申込書をファックスで送信していただいた後、請求書を送付させていただきます。指定の口座にお振込み願います。



第2期 **バイオインベストメントギルド**(BIG)

2020年

7月 オリエンテーリング+特別講義
「バイオ産業の最新潮流」

8月 休講

8月末、もしくは
9月初めの
金曜日・土曜日 **慶應義塾先端生命科学研究所で実習
最新のバイオとメタボローム解析を体感**

9月 ゲノム解析はどこまで行くのか？ PRSは本当か？

東北メディカルメガバンク、イルミナ or BGI、東京大学など

10月 ゲノム編集技術の実用化とその落とし穴

東京大学、バイオパレット、医薬基盤研究所など

11月 デジタルやAIが創薬やヘルスケアをどう変えるのか？

慶應大学、サスメド、近畿大学など

2021年

1月 新春講演会
「今年の日米のバイオベンチャーはこうなる！」

いちよし経済研究所、注目バイオベンチャーなど

2月 iPS細胞・ES細胞

慶應大学、大日本住友製薬、アステラス製薬、ベンチャー

3月 離陸した遺伝子治療とその限界

ノバルティス、遺伝子治療研究所、ベンチャー

4月 免疫制御薬の突破口

国立がんセンター、協和発酵キリン、ベンチャー

5月 核酸医薬の夢と現実

大阪大学、日本新薬、国立がんセンター、ベンチャー

6月 アルツハイマーをどう治す、どう防ぐ

理化学研究所、大阪市立大学、エーザイなど